【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2010-163167(P2010-163167A)
【公開日】平成22年7月29日(2010.7.29)
【年通号数】公開・登録公報2010-030
【出願番号】特願2010-102380(P2010-102380)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ　19/04　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　19/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ　19/04　Ｍ
Ｂ６０Ｒ　19/04　Ａ
Ｂ６０Ｒ　19/04　Ｎ
Ｂ６０Ｒ　19/34

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月13日(2010.7.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】
第１部材が前記前壁と後壁を含む矩形の輪郭を有することを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載された取付構造体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
図６は本発明に係る取付構造体（バンパー構造体）の他の例である。この取付構造体において、バンパーリインフォース３１の断面が日形であり、前壁３１ａ、後壁３１ｂ、横壁３１ｃ，３１ｄからなる断面矩形の輪郭の内部に水平方向のリブ３１ｆを有し、取付穴（前後方向にみたとき円形）が前壁３１ａ、リブ３１ｆ及び後壁３１ｂを前後方向に貫通して形成されている。ステイ５２は、図１，２に示すステイ１２と同様の方法でバンパーリインフォース３１に取り付けられ、バンパーリインフォース３１の内部では、前壁３１ａ、リブ３１ｆ及び後壁３１ｂに形成された取付穴の内周面に密着し、かつ前壁３１ａ、リブ３１ｆ及び後壁３１ｂの間の空間で外径方向に膨出して、張出部５２ｂ，５２ｃが形成されている。この取付構造体では、図１の例と比較すると、リブ３１ｆにより回り止めが強化されている。また、リブ３１ｆが電磁成形時に前壁３１ａと後壁３１ｂの間隔が縮むのに抵抗し、バンパーリインフォース３１の断面の変形が抑制できる。